

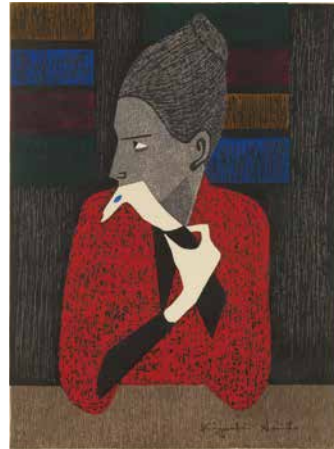
パリめぐり

～斎藤清をおいかけ

1959年11月5日。損害保険会社AIU(現.AIG)の創業者コーネリアス・ヴァンダー・スターの招きで、斎藤清はパリの地を踏みます。それから12月19日まで、主にパリに滞在しながら、ノートルダム大聖堂・リュクサンブール公園といった市内各地、パリ近郊のバルビゾンやジャンティイ、オーヴェル・シュル・オワーズ、さらにはオーストリアにまで足を延ばし、目にするあらゆるもの-建物、路地、街路樹や広告塔、そして当地の人々-を丹念に描き留めていきました。そこには訪れた日にちと場所も記され、斎藤がいつ、どこで、何をみたのか、たどることもできます。フランスから持ち帰った膨大なスケッチ群は、1960年代の木版画やコラグラフ、墨画作品へと結実し、晩年においても創作の源となりました。数多のアーティストたちの憧憬の的であり続け、今またオリンピック・パラリンピックの開催で世界中の注目を浴びるパリの、65年前の姿。斎藤作品をガイドに、芸術の都をめぐり歩いてみませんか。



《カフェ クーポール パリ》1963年 紙、コラグラフ
パリ14区 モンパルナス(ラ・クーポール)



《ショッピングガール カルダン パリ》1960年 紙、木版
パリ8区 フォーブル・サントノレ通り(ブティックEVE)



《パリ 露店(1959年12月)》1989年 紙、木版
パリ5区 サン・ジャック通り



《ヌード(B)》1950年 紙、木版



《ヌード(A)》1969年 紙、ドライポイント



《目(3)》1975年 紙、木版

ACTIVITY

ギャラリートーク

今春は2つの企画展！楽しみ方とみどころをお教えします。

日時 4/20(土)・28(日)・29(月・祝)、
5/3(金・祝)・5(日・祝)・12(日)・19(日)、6/2(日) 14:00~(約30分)

ミュージアムカフェ

パリめぐりのあとは、カフェでいこいのひとときを。

日時 4~5月の土日及びゴールデンウィーク中(4/29~5/6)を予定。
※詳細はHP等でご確認ください。また飲食には料金が発生します。

斎藤清美術館アートワークショップ

宝石みたいなすくで、あたらしいぬりえ！

講師 斎藤清美術館地域おこし協力隊

日時 4/20(土) 14:00~15:00 場所 ホール
対象 小学生(親子参加可) 定員 7組 ※要予約(先着順)

※各イベントの参加費は無料。
ただし、合わせて展示会をご覧になる場合は観覧料が必要です。
※予約が必要なイベントについては、右のQRコードよりご予約ください。

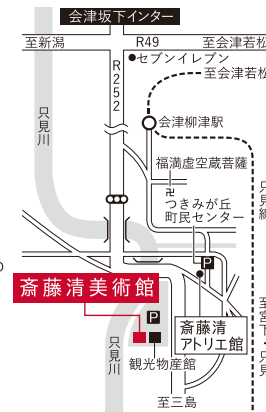


ACCESS

🚗 自動車でお越しの場合
東北道→磐越道→会津坂下IC→R252を
只見町方面へ5km(道の駅 会津柳津内)

🚊 電車でお越しの場合
東京駅(東北新幹線)→郡山駅(磐越西線)→
会津若松駅(只見線)→会津柳津駅

T969-7201
福島県河沼郡柳津町柳津字下平乙187
TEL:0241-42-3630
Mail: bijutsu@town.yanaizu.fukushima.jp



各種SNSで最新情報を発信中

@kijoshisaitomuseumofficial

@kijoshisaito_museum_official

@museum_yanaizu

斎藤清美術館

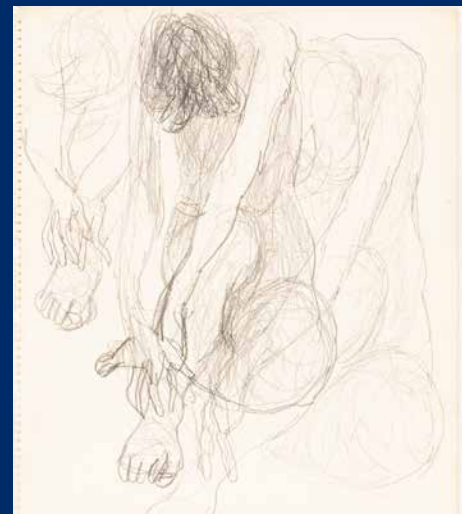


斎藤清美術館
KIYOSHI SAITO MUSEUM OF ART YANAIZU

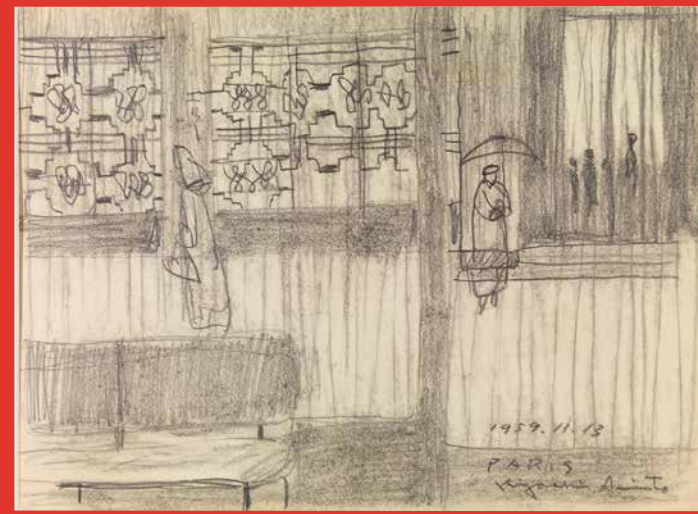
PHYSICAL BEAUTY

斎藤清 × ヌード

古代ギリシア文化では裸体美が重要視されましたが、その背景にはオリンピックの開催があったと言われています。神聖な祭典であるオリンピックでは、参加者は裸体となることが定めとなっており、優れた技能とともに、選手の健やかで美しい肉体が称揚されました。その理念が彫刻をはじめとする数々の優れた裸体像を生み出し、やがてはルネサンス以降の西欧美術の模範となっていきます。このことに着目し、オリンピック関連企画の一として、斎藤清のヌード作品を紹介します。斎藤にとっても、「ヌード」は重要なモチーフの一つ。1940年代から80年代にいたるまで、多彩なイメージを生み出しています。もの想うヌード、リズムカルなヌード、しなやかに躍動するヌード…細部の省略とデフォルメから生じる独特の存在感と美しさ。写実的な描写とは一線を画す、斎藤清の裸体表現をご覧ください。



《スケッチ(66.9.4)》1966年 紙、鉛筆



《スケッチ(1959.11.13パリ)》1959年 紙、鉛筆
パリ5区 エコール・ポリテクニク通り周辺